



盆栽

真柏 しんぱく

銘「登龍の舞」

作 木村正彦氏



町内在住の盆栽作家木村正彦氏が1988年の第13回日本盆栽作風展（プロの盆栽作家の競技会である盆栽展）で最高賞である内閣総理大臣賞を受賞した作品です。当時の竹下登首相がこの上なく感動し、自身の名前をとり、「登龍の舞」と命名しました。総理大臣

がとても気に入って命名するのは異例のことで、新聞やテレビにも取り上げられ、木村正彦氏の名前を世界的に有名にしたエピソードです。

その後も新しい作品を生み出し続け、内閣総理大臣賞に輝いた作品は27点にも及びます。木村氏は盆栽界の巨匠であり、これまでに現代の名工（卓越技能章）や黄綬褒章など数々の表彰を受けています。

樹齢1000年以上の真柏

白、茶、緑の濃淡の対比が美しく、また雄大な自然

を感じさせる躍動感が、まさに登り龍を彷彿とさせます。この濃い茶色部分が、土から水分や栄養を取りこみ、葉の部分に送っています。1985年、岩手の断崖絶壁に自生していた樹齢1000年以上の真柏を入手し、盆栽として作出してから約35年、同じ鉢で今なお悠然と生き続けており、強い生命力を感じさせます。

木村氏にお話を伺いました

2021年はどんな年にしたいですか？

2020年は上野や京都で毎年行われる展示会などが中止となり、2021年も人が集まるような大きな展示会が開催されるかわかりません。催しが中止となったら、今は休息时间、充電時間と思って過ごします。とは言っても、どこかへ出かけたりしないという話で、毎日盆栽の手入れなどをしますよ。盆栽はやることが多いですからね。自分の作品づくりに没頭できます。

今後の目標は？

絶えず向上心を持ち、生涯現役でありたいですね。今後も、世界から注目される作品を作りたい。自画自賛ではなく、この世界的盆栽ブームの中でも、世間が認めてくれるような作品が良いですね。そのために、技術とセンス、感性も常に磨いていきたいですね。



木村正彦氏の自宅。たくさんの作品が迎えてくれました。

令和3年 成人式

1月11日(祝)の成人式は、総合センターとけんかつの2か所に分かれ、1回目は13時から、2回目は15時からの開催に向けて準備を進めています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、中止等については随時町ホームページでお知らせしますので、成人式開催直前までご確認ください。生涯学習課にお問い合わせください。

- 対** 平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれの方
※現在伊奈町に住んでいなくても以前伊奈町に住んでいた対象年齢の方で、伊奈町の成人式に出席をご希望の方は、生涯学習課にご連絡ください。
※会場の都合上、保護者の方は入場できません。

問 生涯学習課 ☎ 2541



伊奈備前守忠次公によるまちづくり

散策路整備イベント ～忠次公の功績を学び、散策路を作ろう～

ウッドチップを撒いて散策路を作るイベントを開催します！

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加定員を50名程度とします。

日 2月14日(日)10時～13時ごろ

※雨天の場合は、2月20日(土)に延期。

場 頭殿権現社敷地内(丸山地区)

※駐車場に限りがありますので、自転車等でのご来場をお願いします。

費 500円(昼食代など)

申 2月5日(金)までに、忠次プロジェクト推進協議会 ☎ 724-1055 にお申し込みください。FAX 724-1056 または ✉ inatadatsugu@gmail.com から申し込可。

※申込書は、町・観光協会各ホームページからダウンロード可。

(一社)伊奈町観光協会ホームページ▶



び ぜん きよ

「備前渠用水路」が世界かんがい施設遺産に登録されました！



熊谷市内

令和2年12月8日に開催された「国際かんがい排水委員会(ICID)国際執行理事会で、「備前渠用水路」が世界かんがい施設遺産に登録されました。昨年登録された見沼代用

水に続き、県内2か所目の登録となります。

江戸時代、幕府の命を受けた代官頭伊奈備前守忠次が、用水路のなかった利根川右岸一帯の農業発展および食糧増産を目的として、1年間という短期間で築造したものです。

施設について詳しくは、備前渠用水路土地改良区ホームページをご覧ください。

●世界かんがい施設遺産とは…

かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資するために、歴史的なかんがい施設を国際かんがい排水委員会(ICID)が認定・登録する制度のこと。